

こたえ カブトムシ

ひょうじゅん 標準 ③

カブトムシ

カブトムシのたまごは、腐葉土ふようどという、かれ葉はなどがくさつてできた、やわらかい土の中にうみつけられます。

たまごから生まれた幼虫ようちゅうは、腐葉土ふようどを食べて大きくなります。生まれたときは一センチメートルにもなりません、秋の間にどんどん食べて、十センチメートルほどにもなります。

幼虫ようちゅうは、そのまま土の中で冬をこします。そして、春のおわりごろ、さなぎになります。

夏になると、さなぎから、つのある成虫せいちゅうが出てきます。

成虫せいちゅうは、夜に木のしるをすいにやってきます。

1 カブトムシのたまごは、どこにうみつけられますか。

ふ
よ
う
ど
の中

2 幼虫ようちゅうが、腐葉土ふようどの中でくらすのはどうしてでしょう。

腐葉土ふようどを食べて大きくなるから。

3 幼虫ようちゅうがさなぎになるのは、いつごろですか。

ア 秋のはじめ
イ 春のおわり
ウ 冬のまん中

4 成虫せいちゅうは、夜に何をすいにやってきますか。

木の
し
る

おうちの方へ

- 一センチメートルから十センチメートルに育つ大きさを、ものさしで見せてあげると実感がわきます。